

5月給食たより

平成24年 4月27日
練馬区立中村西小学校
校長 福田 純子
栄養士 川島 夕子

暖かい日が続くようになりました。新緑の季節になってきました。新しい学年、新しいクラスにもだいぶ慣れてきたのではないでしょうか。緊張していた4月を終え、5月になると生活のリズムを崩しがちになります。「早寝・早起き・朝ごはん」で元気に過ごしたいものです。また、運動会の練習も始まりますのでしっかり食べて力をつけていきましょう。

端午の節句 豆ちしき

ちまき

ちまきやもちを籠の葉や竹の皮で包んだものを「粽(ちまき)」といいます。もともとは葦(ちがや)の葉で包まれていたことからこの名がついたといわれます。



かしわもち

かしわの木の葉は新しい芽が出ないと古い葉が木から落ちないとされ、そこから「あとつきがなくならない」と縁起のよい木とされてきました。その葉であるをなんぞおめでたい食べ物です。



★「端午の節句は「端」「はじ」、「午」「こう」の意味で、前のこよみで5月の一番はじめての午の日に行われていました。いわからか「午」「こ」「ひ」となり、5月5日が端午の節句になったそうです。

献立紹介

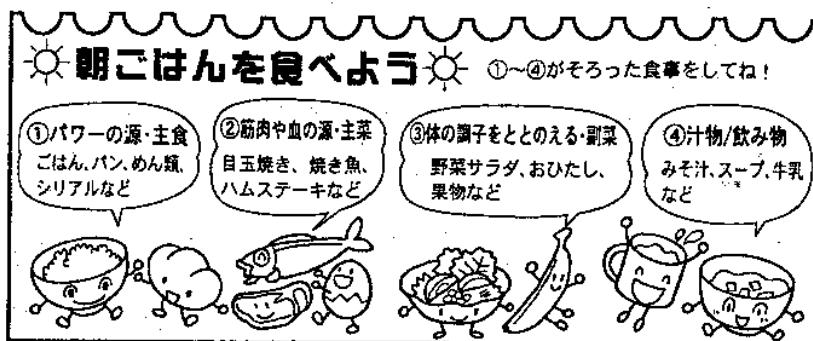
◎2日：水曜日

5月5日はこどもの日です。給食では一足早く子供たちの成長を願い、中華ちまきを作ります。

◎11日：金曜日

5月2日は八十八夜です。八十八夜は立春から数えて88日目のことをいい、立夏を控え、春から夏に移る節目の日として大切にされてきました。また、お茶の葉は一度でも霜に当たると駄目になってしまいます。丁度この時期の冷害を回避するために「八十八夜の別れ霜」という言葉も生まれました。八十八夜に摘み取られるお茶は、古来より不老長寿の縁起物の新茶として珍重されています。

給食ではお茶を使った抹茶マドレーヌを作ります。



早寝早起き朝ごはん

「早寝早起き朝ごはん」運動シンボルマーク

学校給食の食材料について

食品の放射性検査については、国や指定された都道府県において実施され、その結果については厚生労働省、農林水産省、各自治体のホームページに掲載されています。また、練馬区の農産物の検査結果については、東京都または練馬区のホームページに掲載されています。

精米は東京都米穀商小売商業組合練馬支部と北海道空知産直センターから精米を購入しております。中村西小学校で使用している精米は「平成23年度産青森県産まっしぐら」及び、「平成23年度産北海道ななつぼし」です。いずれも放射性物質は不検出という検査結果が出ております。

牛乳の集乳予定地は、千葉県・群馬県・岩手県・北海道です。今年度も牛乳の予定産地を確認し、変更があった場合は迅速にお知らせいたします。

その他、野菜・果物・肉・魚・豆腐・調味料などの食材は、学校で売買契約した信頼のおける地域の業者等から納入しています。事前に産地が確認できる食材や、当日納入時に確認している食材、産地から直接仕入れる食材など、食材によって異なりますが、必ず産地等を確認しております。

学校給食用食材については、産地、製造販売業者、賞味期限、品質等を確認すると同時に記録し、安全な食材の調達を優先しています。

東日本大震災の影響により、今後食材の流通が滞ったり、価格が変動するなどの事態が予想されます。食材やメニューの変更などをお願いすることがあるかもしれません、ご理解、ご協力をお願いいたします。

5月分の給食費は4月分と一緒に5月28日(月)に引き落とされます。遅延を避けて下さい。